

南関町教育長だより

道

第15号 R7.4.10



初心忘るべからず！今の気持ち大切に過ごしましょう

令和七年度がスタートしました。

四月八日始業式、九日入学式が終わり学校がスタートしました。今年は、桜の花が久しぶりに咲き誇る華やかな入学式でした。令和七年度、子どもたちや町民の皆さまの笑顔が輝き、充実した一年であるよう教育委員会職員一同頑張りたいと思います。特に、学校教育において「南関町を大切に思い、町に根差す。将来、町を離れたとしても、南関町のことを忘れない。」そのような子どもたちを育てていきたいと思っております。

本年度、教育委員会が取り組む主な事項は次の通りです。

〈学校教育〉

- ・ 自己選択・決定・調整力を大切にしたい学びの実現
- ・ 学校のあり方検討委員会による未来の町教育構想づくり

〈生涯学習〉

- ・ それぞれの年代に合わせた教育・啓発活動の充実による人権の町づくりの推進
- ・ 南関町新図書館（このみCHU）のオープンに伴う多世代の交流促進

〈文化振興〉

- ・ 旧石井家住宅主屋等の整備推進と活用方法の構想の促進

今日の論語

子曰わく、「民は信なくんば立たず。」と

先生は言われた、「世の中は、お互いの信頼関係が無いと、成り立たないものである。」と。

物事を成し遂げる時に、自分一人ではできないことは限られています。その時に心がけるべき大切なことは、相手や仲間を信じて、お願いする（任せる）ことではないでしょうか。信頼関係づくりは簡単にはいきませんが、力を注ぐべきことだと思います。

南関町がめざす子ども像と身につけさせたい資質・能力

南関町では、平成29年に学校関係者の熟議にて「めざす子ども像」を設定しています。これをもとに、学校教育で身につけさせたい資質・能力を下の図のように考えました。南関町を愛する心をベースに、自律・絆形成・夢創造の3つの力を統合し「難関突破力」を身につけた、たくましい子どもたちを育てます。

めざす南関町の子ども像

- 1 町を誇りに思い、ふるさとを愛する子ども
- 2 明るくたくましく、元気にあいざつできる子ども
- 3 思いやりの心をもち、自分の考えを伝えられる子ども
- 4 夢に向かって、自ら学び挑戦する子ども

南関町で育てたい児童生徒の資質・能力

